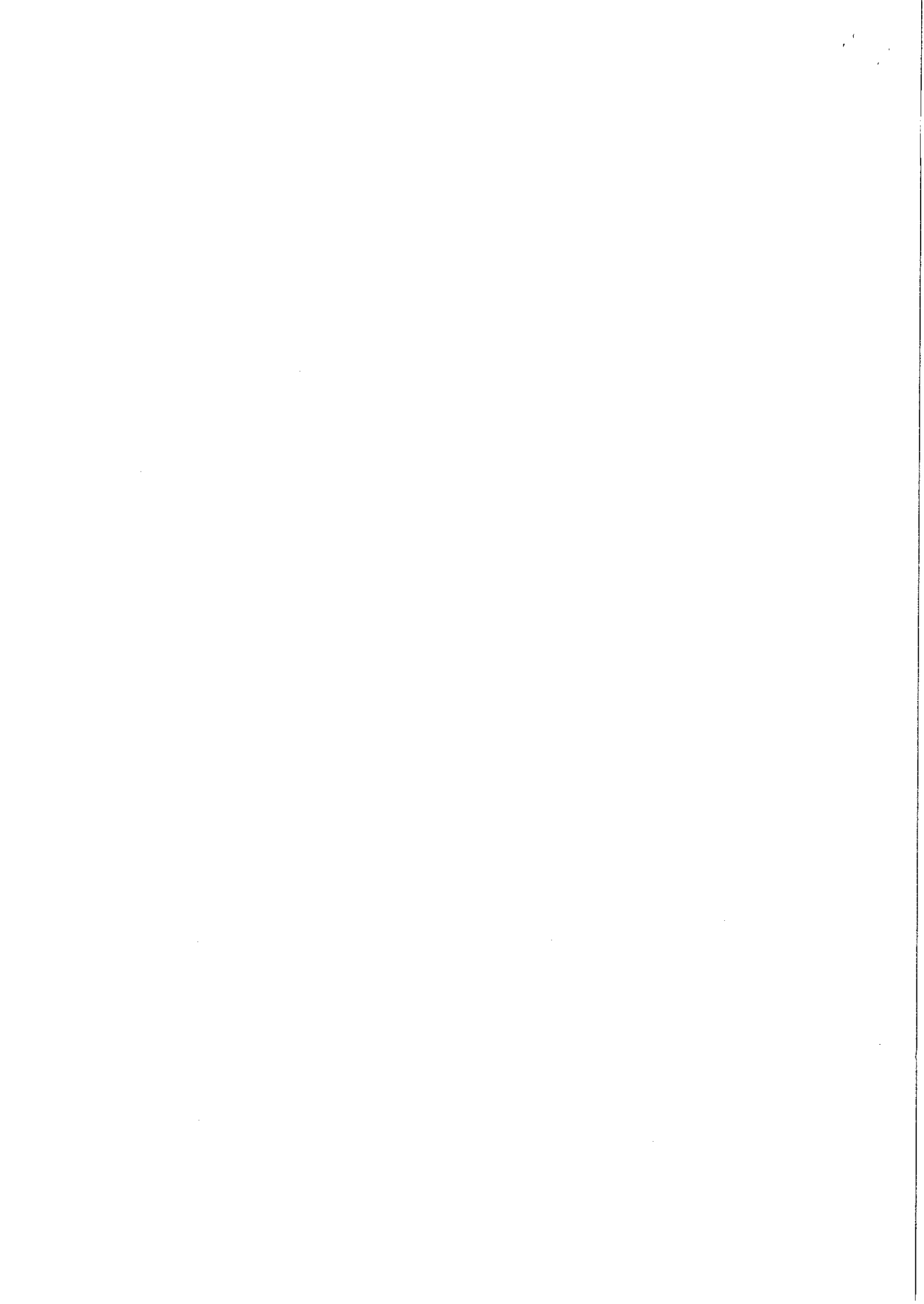


事 業 報 告

平成28年度

清 香 会



平成28年度 事業報告 社会福祉法人 清香会

【基本方針】

1. 福祉制度の動向に対応し、法人役員体制、グループホーム建設計画を進める。
2. 社会福祉法人としての地域貢献が求められていることに対して、「生活困窮者レスキュー事業」に参加し社会貢献を進める。
⇒(3件) H28.5(美里町) ホームレス 社協の貸付事業認定までガソリン、食品、入浴券
H28.6(〃) 無職 生活保護受給までの食品、ガソリン
H29.1(宇土市) 地震 生活保護受給までの食品、電気料金
3. より良い法人経営を心掛け、ホームページを活用して情報公開を進める。
4. 29年度の開設五十周年を施設の認知度を高めるものとなるよう検討する。

【具体的項目】

1. 29年度からの法人改革に対応し、精査検討する。
⇒ 法人制度改革に合わせて定款変更や役員改選など年度内にやるべき事を行いました。
2. 会計基準に沿った正しい会計を基に合理的な経営を行う。
⇒ 会計基準について研鑽に努め正しい会計を心掛けました。
3. 開設五十周年事業としてグループホームの建設計画を進める。
⇒ グループホーム建設については2棟の補助申請(国庫補助とJK A)を行い、1棟のJK A(競輪)の補助が決定しました。来年度完成に向けてさらに計画を進めていきます。
4. 職員の資質向上を図ると共に若い職員の採用に努力し、事業の持続性を図る。
⇒ 計画的な外部研修への参加や施設内での研修やケース会議等を行い、資質の向上に努めました。新卒職員の採用に関しては、若手職員2名を採用広報担当に任命し、就職説明会等に積極的に参加しました。今年度の採用はありませんでしたが、次年度も継続して取り組みを行います。
5. 給食を直営にもどし、内容の充実に努める。
⇒ 食事に関して明日香でも提供していましたが、今年度より清香園に統合して提供を行いました。委託の時よりも食事の内容は向上しました。人員の補充も、年度内に確保が出来たので、次年度に関しては再び明日香での食事提供が出来るように準備を進めていきます。
6. 明日香の運営をより確かなものにする。
⇒ 今年度は、積極的な実習受け入れを行いました。新規の利用がありませんでした。定員確保する為にも作業内容と工賃の見直しを行うよう準備を進めました。
7. 本会経営の施設の無事故記録を更新する。
⇒ 無断外出や転倒による怪我が起きないように支援の検討や確認の徹底を行いました。

平成28年度 事業報告 障がい者支援施設 清香園

【基本方針】

1. サービスの質の向上

利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛け、寄り添い、ニーズに沿った支援を行う。また、高齢化にも対応し、安心・安全なサービスを提供するために、機能訓練等の充実、医療との連携や食生活の管理を行い、総合的に支援を行います。

⇒ 日中活動の内容の検討を行い、養鶏作業の廃止をはじめ作業活動の縮小化を図り、運動中心の活動や機能訓練など現状の利用者の方に合った活動内容に変更しました。高齢の方を中心とした日課の変更や感染症の予防と蔓延時の対策強化を行いました。

終末期で長期入院中の方に対して、医療機関・関係事業所・家族・清香園職員それぞれが連携し、ご本人の思いを最優先として一時帰園の受け入れを実施しました。様々なリスクはありましたが、帰園時のご本人の笑顔が今でも忘れられず、御家族からも感謝の言葉を頂きました。

2. 職員の資質の向上

人事考課導入に伴い、それぞれの目標を明確にし、自分から業務改善の提案や能力向上に対する意欲が出るような体制を整える。研修に関しても、外部研修への積極的な参加と内部研修の充実を図り、計画的な人材の育成に努めます。

⇒ 人事考課を導入して1年が過ぎましたが、面接のやり方、目標の設定や修正など評価者（主任等）に対して社労士の方よりアドバイスを受けながら行ってきました。皆が体制に慣れて十分に活用できるまでにはもう少し時間がかかりそうですが、半期毎の目標に関しても等級（階層）に応じた内容で設定できるように取り組みを進めています。外部研修に関しても、それぞれの目標に関する研修受講の希望があり、積極的な姿勢は見られますが、そこで学んだことを実際に現場で活かして行くという部分が今後の課題です。

3. 活気のある職場づくり

各種委員会（運営委員会・虐待防止委員会・ヒヤリハット委員会・拘束防止委員会・給食委員会）を定期的に行い、しっかり機能を果たし、人権擁護に対する意識付けや生活環境の改善に向けての働きかけが出来るような体制づくりに努めます。

⇒ 特に今年度から新設の『ヒヤリハット委員会』と『拘束防止委員会』に関しては、定期的な会議を開催し積極的な活動を行いました。拘束防止委員会では、マニュアル作成を行い身体拘束に関する考え方の周知と記録の取り方や緊急やむを得ない場合の手順等が明確になりました。ヒヤリハット委員会では、毎月提出されたヒヤリハット報告書の検証を行い、最終的に運営委員会、職員会議にて報告を行いました。環境に関する事、支援に関する事など、事故等が起こる前に改善を図りました。

4. 安定した食事の提供と個別の栄養管理

直営での食事提供体制の確立と利用者個別の事情に合わせた食事の提供と栄養管理を行い安心・安全の食事提供を行います。

⇒ 新年度から直営での食事提供開始から間もなく、地震が発生したり、人材不足の影響もあり、食事の提供時間等の変更を行って対応しました。年度内に人員の確保もできて、味付けや食事の内容に関しても検食簿等によると満足度が上がってきているようです。

また、高齢の方への食事提供では、看護師や支援員と連携を行い状態にあった食事の提供に心掛けました。また、衛生管理に関しても職員間で徹底を図りました。

【相談支援事業】

4. 地域のニーズに応じた機能と社会貢献

相談支援事業では、計画相談を中心に法人内と外部の方のバランスを考えながら相談に応じ、各種機関とも連携を図りながらネットワークづくりを実践します。社会貢献活動として、生活困難者に対する相談・支援事業を実施します。

⇒ サービス等利用計画案新規作成～3件

モニタリング～108件

更新(モニタリング+計画)～40件

サービスや支給量の変更による計画案～3件

★契約者数 91名 (平成29年3月31日現在)

清香園入所者51名、GH8名、他のGH4名、在宅28名

熊本地震による相談支援対象者の安否確認、被災の影響によるサービスや支給量の変更等、更新以外での計画案の作成など、その時々で必要なサービスが受けられるよう支援を行いました。また、圏域の相談支援事業所との連絡会に定期的に参加し、情報の共有や地域との連携を図りながら相談業務を行いました。

平成28年度 事業報告 多機能事業所 明日香

【基本方針】

1. 就労支援事業所としての強化と職員間の連携

各部署で、作業内容の見直しを行い効率性と作業収益の増加を意識した取り組みを行いつつ、それぞれの活動内容の理解に努め、職員間の連携を深めて積極的な事業運営に努めます。

⇒ 収益という部分について『作る』だけでなく『売る』という意識を高める為、販売先の見学、売れ筋の把握、販売先レイアウトの見直し等を行いました。また、品質維持の為に草B級品のチェックや売れ筋商品や季節商品などをセットにして販売を進めました。

職員間の連携としては、シソジュース作りの工程で、シソの葉ちぎり等に関してはイ草班にも手伝ってもらい、作業班ごとではなく明日香全体として活動に取り組みました。

2. 職員の資質の向上

人事考課導入に伴い、それぞれの目標を明確にし、自発的な業務改善の提案や能力向上に対する意欲が出るような体制を整える。また、利用者の個別の状態（情緒の変化）に応じた支援が出来るように、積極的な研修参加や専門機関との連携を図りながら支援能力の向上に努めます。

⇒ 明日香では人事考課・目標設定として利用者支援に関わる部分以外に各部門の効率upや収益性を考えた目標としてもらいました。それぞれに現状をしっかりと考察してもらい、課題と思われる部分の改善を行いました。

情緒面に課題のある利用者の方については、不安定となる原因を探り、その原因と思われる部分を排除することで不安定となる回数が減りました。対処法を考えたら、即実行に移すことで早めの対応ができました。

【グループホーム事業】 定員9名

3. 地域生活を支える支援の推進

グループホーム利用者に関して、個別に作業と生活のバランスを考慮した支援を実施し、健康管理にも力を入れて地域生活を継続します。地域住民として、清掃活動や行事に積極的に参加し交流を図ります。

⇒ 利用者の体調管理に関しては、毎朝のバイタルチェック(体温・血圧測定)で本人の状態確認を行い、無理なく作業活動に参加してもらいました。また、世話人さんや管理宿直者と定期的な会議を開催し、情報の共有や支援の確認を行いました。高齢になられ、季節の変わり目の時期には体調を崩される方もおられました。今後もしっかり体調把握に努めることが大切です。地域住民との交流に関しては、地震の影響で地域の行事がほとんど中止でしたが、清掃活動は出来る範囲で行いました。